

令和2年度 学校評価一覧シート

愛知県立半田工業高等学校

項目担当	本年度の重点目標	・生徒個々の能力の向上を図る。 ・自己表現できる人間の育成に努め、思いやりの心を醸成させる。 ・開かれた学校づくりを推進し、地域への情報発信を行う。	
	重点目標	具体的方策	留意事項
総務部	<ul style="list-style-type: none"> 学校と家庭の連携を深める。 儀式的行事の円滑な運営を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> P T A委員会の活性化を図る。 e-メッセージを積極的に活用する。 全職員の協体制を整え、儀式的行事に取り組む。 生徒の相互理解の場として活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> 専門委員会の自主的・積極的な活動をさらに促す。 e-メッセージにより、学校から保護者へ連絡事項の伝達を徹底する。 生徒が規律ある態度で儀式的行事に取り組めるように支援する。
教務部	<ul style="list-style-type: none"> 各教科の学力を向上させる。 広報活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 授業の工夫改善を図り、生徒の学習意欲を高める。 授業を大切にす。 (授業規律、成績不振者指導等) 中学校の進路説明会や、地域交流を通じ校名変更・学科改編・募集単位の見直し及び本校の様子について伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業改善に努め、学力向上を図る。 成績不振者に対し継続的な指導を行う。 生徒個々の学力に合わせ、適切な指導計画を立てる。 分掌・学年会等、関係各所と連携し実施する。
生徒指導部	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶、身だしなみを整える等、生徒自ら主体的に考えて行動できるようにする。 安全・安心な学校生活の実現 いじめの未然防止、早期発見、適切な対処 	<ul style="list-style-type: none"> 校門指導で挨拶の励行も行い、身だしなみ指導も年間8回実施するが、生徒自ら行動に移せるように働きかける。 講話の実施や、全体、HR単位、部活動単位または個人に対し全職員で協力して指導する。命の大切さを伝えるとともに、人権に関する指導の充実と、交通事故の防止減少に努める。 生活アンケートを利用した情報収集と、家庭や地域社会との連携を図り、いじめの未然防止・早期発見につなげる。 情報を職員間で共有し、いじめ防止対策委員会が中心となり全職員で組織的に対応する。 	<ul style="list-style-type: none"> 担任・職員・保護者と連携し、生徒と保護者に理解を得る。 命の大切さを伝えるとともに、人権に関する指導の充実と、交通事故の防止減少に努める。 全校集会やHRにおいて、いじめは許されない行為であると生徒に理解させる。
進路指導部	<ul style="list-style-type: none"> 進路意識の高揚を図る。 自分に合った進路選択をさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 将来の目標を持たせ、自己実現に必要な能力を伸ばできるように援助する。 勤労観・職業観を育成するため、進路への知見を広めさせる情報提供をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 自らの意志と責任で進路を選択決定できるようにする。 自己理解を深めさせ、長期的な展望を持って選択できるようにする。
保健厚生部	<ul style="list-style-type: none"> 健康への意識を高め、心身ともに健康的な学校生活を送れるようにする。 学校生活における不安や悩みの解決に取り組む。 日常の清掃に積極的に取り組み、整備され、落ち着いた学校環境を保つ。 	<ul style="list-style-type: none"> 健康診断、保健講話、毎日の健康観察を通じて健康への意識を向上させる。 こまめな換気を実施し、感染症予防に努める。 スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、担任、相談係と連携し、教育相談体制の充実をはかる。 清掃を毎日全員で実施し、ごみの分別、環境美化に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒保健委員による健康観察、文化祭等の発表を通じて健康意識向上を図る。 流行りの感染症に対する情報の収集をする。 教育相談委員会、相談係を通じて生徒情報の共有と対応を図る。 生徒厚生委員によるゴミの分別作業を行い、ゴミの減量化を図る。
図書情報部	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が興味を持てる本の購入や企画を行い、利用し易い図書館を目指す。 個人情報の漏洩防止及び情報セキュリティの強化を図る。 ホームページの内容を充実させ、本校の魅力を地域に発信する。 「K0-GY0-Times」の発行を通じて、本校の魅力をアピールする。 	<ul style="list-style-type: none"> 「図書館だより」を通じて本や企画の紹介を行い、図書館利用を呼びかける。 セキュリティの向上を行う。 リニューアルした学校ホームページの情報の更新を頻繁にもらえるように周知し、更新しやすい環境を構築していく。 中学校の教員や生徒および保護者、企業関係者に積極的にPRする。 	<ul style="list-style-type: none"> 「図書館だより」の内容を充実させ、生徒の興味、関心を引き、利用しやすい環境を整える。 ネットワークハードディスクの適正な利活用を推進する。 新しいシステムを活用し、寄稿者などの設定を設けてより発信しやすい体制を整える。 「K0-GY0-Times」を地元の中学校の教員や生徒および保護者だけでなく、企業関係者にも配布する。
生徒会部	<ul style="list-style-type: none"> 学校行事の充実を図る。 ボランティア活動への積極的参加を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が自主的に活動し、全校生徒が協力して学校行事に取り組めるように、生徒会執行部が中心になって企画や運営を行う。 ボランティア活動への参加を全校に呼びかけるとともに、地域への貢献ができるよう活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒議会、各委員会の活動を活発化させ、各クラスとの連携を進めて、全校生徒が何らかの行事に参加や協力ができるようにしていく。 学校に届くボランティア募集の内容を精選し、掲示板等に掲示し、生徒に向けて発信していく。
工務部	<ul style="list-style-type: none"> 資格取得を通して自ら学び、生徒の個々の能力を高める。 開かれた学校づくりを目指して、地域イベントに参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> 段階的に資格取得の勉強をし自ら積極的に取り組む姿勢を持たせる。 地域連携授業に積極的に参加し、コミュニケーション能力の向上を図る。 学校のホームページを有効に活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ホームページの更新をできるだけ早く行う。 地域イベントに、各工業科の協力のもと情報を発信する。

	重点目標	具体的方策	留意事項
電子機械科	<ul style="list-style-type: none"> 個々の生徒の理解に努め、実習や製図などのものづくりの経験をとおして、学習に対する姿勢を育む。また、工業人としての姿勢や考え方を、理解し実践できるように育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 各教科科目に対ししっかり理解させる。特に実習製図など作業を伴う授業では、体験を通して意欲を高める。 資格・検定に対して計画的に取り組ませる。 外部企業との連携を深めることでキャリア教育の推進を図る。 地域の活動に参加し、相互の関連を理解し連携を深める。 「安全への意識」を高め、「5S」や「報連相」を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業を大切にす。 課題、レポート等提出物に対し、期限を守りしっかり取り組ませる。 進路に対する活動に積極的に取り組み、興味関心を高め、目標を持たせる。 学習も進路選択も生徒自ら意欲的に取り組めるように指導する。 学校での多様な活動を通して、コミュニケーション能力の向上を促す。
電気科	<ul style="list-style-type: none"> 電気への興味関心を高めながら、生徒個々の基礎学力とコミュニケーション能力などの向上を図る。 生徒が自己表現できる場を提供しながら、開かれた学校づくりを目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 日頃の授業や資格取得のための学習を通して、基礎学力および電気に関する知識と能力を高める指導をする。 レポート指導や声かけなどによりコミュニケーション能力の向上を図る。 学校行事に積極的に参加させ、地域貢献や他人と協力できる場を提供し、地域への情報発信につなげる。 ボランティア活動内容や各種競技大会の結果など、生徒の活躍を学校ホームページを通じて情報発信する。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒個々の能力や活動状況を把握し、難易度の高い資格にチャレンジさせるなど適切な目標をもって取り組ませる。 朝や帰り、授業への移動など、機会があるごとに声かけし、正しい言葉遣いやコミュニケーション能力の向上を促す。 自己表現できる場にたくさんの生徒が参加できるように、多くの生徒に声かけをする。 ホームページに掲載する内容が生徒や保護者の意向に沿うものかしっかり確認する。
土木科	<ul style="list-style-type: none"> 基礎学力の向上を図り、社会に必要なとされる知識・教養の習得を目指す。 細かな生活指導を大切にし、基本的な生活習慣を育む。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の内容を基本とし、さらに就業後必要となる国家資格試験の内容も教科指導に取り入れる。資格の重要性を生徒へ伝えることにより、学習意欲を向上させる。 日頃より、礼儀、けじめについて、しっかりと指導をする。特に、正しい言葉遣いを伝え、社会人としての心構えを身につけさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 個に応じた指導ができるよう、授業進度および展開に気をつける。 職員間での情報交換を大切にし、一方的な指導にならないようにする。
建築科	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣の向上と規範意識の確立 学科への興味・関心を深め、生徒個々の能力の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 規則正しい生活リズムを身につけ、遅刻・欠席・早退をなくすよう努めさせる。 身だしなみを整え、気持ちの良い挨拶、言葉遣いができるよう指導を推進する。 平素の授業を大切に、出前授業・現場見学会・インターンシップ・職業指導講話などを通して建築に関する興味・関心を深めるとともに生徒個々の能力の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒自身が時間を守るという意識を持って行動できるよう働きかける。 始業・終業時や、職員室への入退室時など、全職員で協力して指導にあたる。 教材研究などに力を注ぎ、生徒がわかりやすい指導心がける。 外部機関との連携を密にし、出前授業・現場見学会・インターンシップ・職業指導講話等を行う。
1年学年会	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣の確立を図る。 工業高校生としての自覚・目標設定をさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 常に健康管理に留意させ、遅刻・欠席等の目立つ場合には、家庭との連携を図る。また、5分前行動や自ら挨拶することを心掛け、行動できるよう指導する。 各教科学科と連携を図り提出物の有無を共有する。また、全生徒が資格取得や部活動、ボランティアなど積極的に参加させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 円滑な対人関係を築く為にも挨拶や時間を守ることの重要性を確認させる。 課題の遅れなどから不登校にならないよう、多くの職員と情報の共有を図り生徒一人一人を見守っていく。 目標設定をさせ、学校生活が充実するよう指導に当たる。
2年学年会	<ul style="list-style-type: none"> 自ら考え、主体的に行動する力を身につけさせる。 進路に対する意識の高揚を図り、進路に対する具体的な目標を明確化させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 報告・連絡・相談をきちんと考え、適切な行動がとれるように、学年会や関係分掌との連携を取りながら学校生活のあらゆる場面で指導し、社会人としての心構えを育成する。 HR・L T活動などを活用して、自己分析の支援や個人面談を積極的に行い、自己発見の援助をする。また、進路指導部と連携をはかり、ガイダンスを充実させ職業や学問に対する理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを自分の言葉で伝える訓練を、生徒とのコミュニケーションを密にし、指導していく。また、保護者との連携を図り、個に応じたきめ細かな指導をする。 具体的な目標を設定し、それに向かい生徒自ら行動を起こしていく意識を持たせる。また、進路指導部と連携を図り、個々に適した進路情報の提供を積極的に行い、生徒と保護者の両方の進路意識を高める。
3年学年会	<ul style="list-style-type: none"> 個人の能力や適性を十分に把握し、個々の生徒に適した進路選択ができるように指導する。 社会人としてのモラル、マナーをしっかり身につけさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> L TやS T、個人面談を通して個々の生徒の進路希望について十分に理解する。 日常生活に対する指導を通して、社会人として必要なモラル、マナーを理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒と保護者が進路についてしっかり話し合い、同じ方向を向いているかを担任がきちんと把握して、生徒が自分で進路を決定できるように指導する。 言葉遣い、挨拶、身だしなみや時間を守ることなどについて社会で通用する内容を指導する。
学校関係者評価を実施する主な評価項目		<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣の確立について 学校行事、部活動の充実・発展について 資格取得の推進について 学校いじめ防止基本方針に基づく取組について 在校時間等の状況記録の結果を活用し、業務の適正化を図るとともに教職員の確実・適切なメンタルヘルスの保持に努めることについて 	